

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 第 3214 号	氏 名	澤登 洋輔
論文審査担当者	主査	小野 賢二郎	教授
	副査	木内 祐二	教授
	副査	内田 直樹	教授
論文題名：自閉症スペクトラム障害における社交不安の神経解剖学的相関：Voxel-Based Morphometry を用いた予備的研究			
掲載雑誌名：昭和学会雑誌 第 81 巻 第 3 号 2021 年 掲載予定			
<p>本論文は、自閉症スペクトラム障害（Autism Spectrum Disorder：ASD）における社交不安の神経解剖学的相関を検証した研究報告である。社交不安は自閉症スペクトラム障害の主要な併存症状であるが、その神経解剖学的基盤は十分に研究されていない。本研究では、ASD の社交不安の神経解剖学的相関を神経学的定型群と比較して検討した。両群に対して、社交不安の重症度（Liebowitz Social Anxiety Scale：LSAS-J）を評価、1.5T MRI を実施し、LSAS-J との神経解剖学的相関を調べるために、Voxel-based morphometry 解析を行った。ASD 群では LSAS-J が左上側頭回の灰白質密度と正の相関を示し、一方で神経学的定型群では両側前頭極と正の相関を示した。以上より、社交不安に対して、ASD では側頭葉、神経学的定型群では前頭葉が機能するという、脳機能の対処の違いがみられた。本研究は、ASD の社交不安の神経解剖学的相関における特徴を新たに示している。本論文は本学大学院学位論文(博士)審査基準を満たしており、学位論文に値すると判断した。</p>			

(主査が記載)